

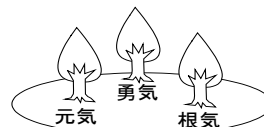
学校だより1月号



# 三保

本校ホームページアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/miho/>



令和2年1月7日

横浜市立三保小学校  
TEL045-931-1037

新たな気持ちで

校長 安富 江理

あけまして おめでとうございます

各地で雪の便りが聞かれるようになりました。令和元年度もまとめの時期となりました。年末年始をはさむ冬休みは、昔も今も、子供たちにとって特別なものだと思います。家族の一員として、自分の役割をしっかりと果たしたり、多くの人と出会って挨拶や礼儀を学んだり、日本の伝統文化にふれたりして、充実した生活を送った子もいたでしょう。また、今年こそはと自分の目標を立て、それに向かって学習やスポーツに取り組んだ子もいたでしょう。子供は、十分な睡眠や食事、適度な運動、そして、心の安定が得られているときに、物事に意欲的に取り組んだり、自分の力を発揮したりすることができます。学校でいえば、何でも聞いてもらえる安心できる学級の中で子供の「学び」の姿は生まれます。健康な心と体をつくるためにも、よい生活習慣を身に付けることが大切です。休み明けは、生活のリズムが乱れがちで、風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎等への罹患も心配されます。子供たちには、新しい年を機に気持ちを新たに目標に向かって頑張ってもらいたいと考えていますので、ご家庭でも、心と体の健康についてご理解・ご協力をお願いいたします。

3月に6年生は卒業を迎えます。12月は、国語の学習として、卒業アルバムに載せる随筆に取り組んでいました。自分が伝えたいことは何かを考え、それに関係するエピソードをいくつか選び、真剣に原稿用紙に向かっていました。何度も推敲し、自分の言葉を紡ぎ出した努力の跡が見られる作品もあります。清書には、6年間で振り返り、自分が成長したことや今後の自分の在り方などが丁寧な文字で書かれていました。卒業文集は、生涯にわたって、思い出として残るものです。イチローさんが小学校のときに「一流のプロ野球選手になるという夢のためにどんな努力をするか」という内容の作文は有名です。卒業文集は、一人分の字数が限られているので、事柄や言葉を選び、字数内にまとめる必要があります。自分の座右の銘を考え、載せている子供は、自分が伝えたいことにぴったりと合う言葉を、本から探したり、見つけた言葉をヒントに自分で言葉をつくり出したりしていました。運動会、委員会活動、クラブ活動、人前で話すこと…。取り上げる題材は、行事や習い事、学習など子供によって様々ですが、全員が小学校生活をきちんと自分の言葉で価値付けることができていました。「ここがうまくいかなかったから、これからはこうする」など、経験をきちんと振り返って自分の課題を克服したことを書いた子供もいました。

子供たちの多くは、自分が変わる・成長するきっかけとなったのは、保護者の方や先生、友達からの言葉だと文章に書いています。「やってみれば。」「○○ならできるよ。」「こうするとうまくいくよ。」など、自分の背中を押してくれた魔法の言葉の数々が、エピソードとともに表現されています。子供は「人との関わりの中で育つ」ということを改めて感じる事ができました。本校は、これからも、子供・教職員だけでなく、保護者・地域の方などたくさんの方と関わる教育活動を通して子供を育てていきます。私たちは三保小学校の教職員として、子供にかける言葉の大切さ、重さを改めて自覚し、指導力をさらに磨いていきます。子供たちが充実した楽しい学校生活を送ることができるように関心を持って教職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。今年もどうぞよろしく願いいたします。